

# 平成31年度当初予算について

香川県農政水産部

平成31年3月



# 香川県農業・農村基本計画の施策体系

基本  
目標

基本  
方針

目指す  
将来像

主要指標  
(H32年度)

施策の展開方向

農業の持続的な発展と笑顔で暮らせる農村の実現

儲かる農業・儲ける経営の実現を目指す「農業の成長産業化」農業所得の向上

農村と集落の再生・活性化を目指す「笑顔で暮らせる活力ある農村づくり」

県民全体へ広く貢献する「県民の豊かな『食』と健やかな『暮らし』への貢献」県民全体が農業・農村の恵みを受く

**『担い手』**  
国内外の産地間競争に打ち勝つ力強い担い手が育成され、本県農業を牽引するとともに、地域を支える集落営農組織が育成

○新規就農者数  
651人(H23～27累計)  
↓  
700人(H28～32累計)  
○集落営農法人数  
88法人(H27年度)  
⇒120法人

**『農産物』**  
県民はもとより、県外・海外の消費者ニーズに即した魅力ある農産物の生産が拡大し、有利に販売されるとともに、6次産業化や農商工連携により、新たな価値が創出

○農業産出額  
760億円(H25年)  
⇒774億円  
○新たに6次産業化や農商工連携に取り組む農業経営体数  
(H20～の累計)  
68件(H27)⇒118件

**『生産基盤』**  
農地が担い手に集積され、ため池や水路等の水利施設が安定的に整備・保全・管理されるとともに、災害や家畜伝染病への備えも万全で、野生鳥獣の棲み分けもできている環境

○担い手への農地利用集積面積率  
30.5%(H27年度)  
⇒50%  
○野生鳥獣被害が発生している集落数  
427集落(H27年度)  
⇒200集落

**『農村・集落』**  
地域での話し合いや協働活動を通じて、多面的機能や地域コミュニティが維持・活性化するとともに、地域資源を活用した特色ある農業・地域活動が展開され、都市部との交流も盛んな農村・集落

○多面的機能の維持・発揮活動を行う農用地面積  
14,425ha(H27年度)  
⇒16,340ha  
○グリーン・ツーリズム交流施設の体験・宿泊者数  
141,500人(H27年度)  
⇒179,000人

## I 本県農業の中核となる力強い担い手の確保・育成

- 多様なルートからの新規就農者の確保  
(1)次世代を担う青年層を中心とした就農・定着の促進 (2)企業参入の促進
- 国内外の産地間競争に打ち勝つ力強い担い手の確保・育成  
(1)新規就農者等の力強い担い手への育成 (2)次世代リーダーの育成
- 地域を牽引する優れた経営体の育成・連携
- 地域を支える集落営農組織の確保と経営発展の促進

## II 消費者ニーズに即した魅力ある農産物の生産・流通・販売

- 消費者ニーズに即した魅力ある農産物づくり  
(1)特徴ある農産物の開発と次世代農業技術の導入 (2)ブランドとなる高品質な農産物の生産拡大 (3)環境に配慮した農業の推進
- ブランド力の強化など戦略的な流通・販売  
(1)県内外・海外への販路拡大 (2)県民の「豊かな食生活」への貢献
- 6次産業化や農商工連携の推進
- 県を代表するオリーブ産業の振興
- 食の安全と消費者の信頼・安心の確保

## III 強しなやかな生産基盤の整備

- 農地集積の促進  
(1)担い手への農地集積 (2)耕作放棄地対策の推進 (3)優良農地の確保
- 力強い農業を支える農地・ため池等の水利施設の整備  
(1)担い手のニーズや地域の特性を生かした農地・水利施設の整備 (2)ため池や水路等の維持・管理体制の整備
- 地域を支える集落営農の推進
- 鳥獣被害防止対策の推進
- 自然災害等の危機への備え  
(1)ため池等の総合的な防災・減災対策 (2)家畜伝染病に対する備え (3)農作物の難防除病虫害や自然災害に対する備え

## IV 特徴ある地域資源を活かした農村と集落の再生・活性化

- 多面的機能の維持・発揮  
(1)地域特性を活かした特色ある農業の推進 (2)独自の特徴ある地域資源を発掘・利用した地域活動の推進と移住・定住の促進
- 独自の特徴ある地域資源を活かした農村の活性化  
(1)地域特性を活かした特色ある農業の推進 (2)独自の特徴ある地域資源を発掘・利用した地域活動の推進と移住・定住の促進
- 地域コミュニティ機能の維持・活性化
- 農村の活性化を支える人材の育成

# 平成31年度 香川県農業・農村基本計画関連事業について

(単位：千円)

主な事業 (★新規、☆拡充)	事業費 ※ ( ) 内はH30 事業費	事業の概要
<b>I 本県農業の中核となる力強い担い手の確保・育成</b>		
<b>1 多様なルートからの新規就農者の確保</b> (1) 次世代を担う青年層を中心とした就農・定着の促進 ①農業次世代人材投資事業 ②新規就農総合支援強化事業 ③多様なルートからの担い手確保・研修事業 ④雇用就農促進強化事業	284,171 ( 351,643)  1,490 ( 1,738) 4,427 ( 4,707) 2,505 ( 3,500)	①青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農前の研修期間と経営が安定するまでの期間の経営を確立するための資金を交付する。 ②関係機関が連携し就農から定着までの一貫した支援体制を整備する。 ③就農希望者の相談や技術習得のための研修を支援する。 ④農業高校生や定年退職者等の就農促進を図るとともに、就農希望者と農業法人等とのマッチング等を行う。
(2) 企業参入の促進 ①企業等農業参入促進事業	5,576 ( 7,173)	①企業等が、農業に参入しやすい環境を整備する。
<b>2 国内外の産地間競争に打ち勝つ力強い担い手の確保・育成</b> (1) 新規就農者等の力強い担い手への育成 ①新規就農者の経営発展支援事業 ②経営体育成支援事業 ③経営モデル策定事業	43,000 ( 35,000) 24,000 ( 60,000) 470 ( 750)	①新規就農者が整備する施設・機械等の導入に対して支援する。 ②経営規模の拡大や生産コストの低減などの経営発展に取り組む担い手に対して、機械・施設の導入を支援する。 ③経営実態調査を行い、経営モデルの検討や経営指標を策定する。
(2) 次世代リーダーの育成 ①かがわ農業MBA塾実践事業 ②法人化の推進体制整備事業 ☆③次代の農業をリードするアグリレディの確保・育成事業	4,000 ( 4,000) 11,775 ( 9,650) 4,540 ( 4,500)	①認定農業者等の経営力向上に向けた経営戦略、財務・労務管理、人材育成等に関する体系的な研修を実施する。 ②経営相談窓口の設置や専門家の派遣等による経営改善を支援する。 ③新たに就農した女性農業者や、農業経営に積極的に参画する意欲ある女性農業者、女性農業者グループの活動等に対して支援する。
<b>3 地域を牽引する優れた経営体の育成・連携</b> ①担い手育成推進活動事業 ②新規就農者の里親育成事業 ★③外国人材活用支援事業	1,134 ( 2,438) 5,200 ( 5,200) 500 ( — )	①担い手の育成、効率的かつ安定的な農業経営の発展を支援する。 ②農業法人等(里親)が、自営就農を希望する者や第三者継承予定者を受け入れて実践的な研修を実施するなどのサポート活動に対して支援する。 ③新たな在留資格による外国人材の受入れの円滑化を図る。

<p>4 地域を支える集落営農組織の確保と経営発展の促進</p> <p>☆①地域を支える集落営農推進強化事業</p> <p>②集落営農サポート塾実践事業</p>	<p>48,603 ( 65,234)</p> <p>906 ( 1,000)</p>	<p>①集落営農の組織化や経営発展の検討及び経営規模の拡大や多角化等に必要の機械・施設の導入を支援する。</p> <p>②集落営農法人等の経営改善を支援する集落営農サポート塾を実施する。</p>
<p>II 消費者ニーズに即した魅力ある農産物の生産・流通・販売</p>		
<p>1 消費者ニーズに即した魅力ある農産物づくり</p> <p>(1) 特徴ある農産物の開発と次世代農業技術の導入</p> <p>①革新的省力・低コスト化技術開発事業</p> <p>②ICTを活用した農業生産技術開発実証事業</p> <p>③DNAマーカーを用いたオリジナル品種開発加速化事業</p> <p>④機能性成分に着目した新技術開発事業</p> <p>⑤情報活用農業推進事業</p> <p>⑥省力化栽培・果実貯蔵技術開発事業</p> <p>★⑦オリーブ新品種開発・普及促進事業</p> <p>★⑧土壌診断に基づくほ場管理技術開発事業</p> <p>★⑨地球温暖化に対応した新技術開発事業</p>	<p>909 ( 900)</p> <p>2,473 ( 2,450)</p> <p>7,876 ( 17,480)</p> <p>2,484 ( 2,500)</p> <p>36,200 ( 45,950)</p> <p>3,900 ( 4,500)</p> <p>3,500 ( — )</p> <p>1,350 ( — )</p> <p>3,250 ( — )</p>	<p>①施設野菜の生産拡大を促進するため、防除作業の革新的な省力・低コスト化を実現するための技術の開発・検証を行う。</p> <p>②衛星画像を活用した「おいでまい」の品質分析技術を確立し、ほ場ごとの栽培技術指導に活用して品質の向上を図る。</p> <p>③DNAマーカーによる育種技術を導入し、アスパラガスやうどん用小麦などのオリジナル品種開発の加速化を図る。</p> <p>④機能性成分の分析、機能性評価や機能性成分含有量を高める栽培技術を開発する。</p> <p>⑤先端技術を活用して効率的な栽培技術等を確立する。</p> <p>⑥大規模栽培を行う場合に必要の、省力化技術の確立を図るとともに、オリーブ果実の冷蔵・冷凍等の貯蔵技術の開発を検討する。</p> <p>⑦種苗の増殖が最適となる条件や方法等について試験研究を行い、新品種の早期かつ安定的な苗木供給を図る。</p> <p>⑧現地ほ場の実態把握やより科学的信頼性の高い土壌診断技術の確立と土壌診断に基づく新たなほ場管理技術を開発する。</p> <p>⑨夏場のハウス内の温度上昇を抑制する気化冷却技術の汎用性を高め、農作物の品質・収量を向上するための技術を確立する。</p>
<p>(2) ブランドとなる高品質な農産物の生産拡大</p> <p>&lt;米麦の生産拡大&gt;</p> <p>①「おいでまい」ブランド強化事業</p> <p>②「おいでまい」おいしさ追求事業</p> <p>③「さぬきの夢」ブランド強化事業</p> <p>④「さぬきの夢」生産拡大事業</p> <p>⑤県オリジナル品種等生産体制確立事業</p>	<p>7,900 ( 8,250)</p> <p>3,028 ( 3,000)</p> <p>1,650 ( 1,650)</p> <p>7,500 ( 7,500)</p> <p>3,128 ( 3,100)</p>	<p>①「おいでまい」について、県内外で情報発信を行うとともに、販売対策や高品質生産を推進する。</p> <p>②「おいでまい」の品質及び食味の高位安定化を推進する。</p> <p>③「さぬきの夢」のブランド力を強化し、生産拡大や消費拡大を図る。</p> <p>④県オリジナル小麦「さぬきの夢」の生産拡大を推進する。</p> <p>⑤県オリジナル品種を核として、水田の有効活用を推進する。</p>

主な事業（★新規、☆拡充）	事業費 ※（ ）内はH30 事業費	事業の概要
⑥生産力向上農業機械等整備事業 ★⑦水田活用耕畜連携支援事業	36,000（ 36,000） 1,000（ － ）	⑥農業機械等の整備を支援し、米、麦、大豆の生産拡大を推進する。 ⑦畜産農家と地域の耕種農家の連携による地域資源を活用した計画的な水田の有効利用など、効率的な生産体系の取組みを支援する。
<野菜の生産拡大> <果樹の生産拡大> ☆①かがわ園芸産地活性化促進事業  ②産地パワーアップ事業（内、★農業用ハウス強靱化緊急対策事業）  ③野菜産地総合整備事業  ④かがわ加工・業務用野菜促進事業 ★⑤攻めの野菜産地づくり事業  ⑥園芸優良種苗対策事業	211,300（ 193,300）  94,704（ 199,000）  407,110（ － ）  11,759（ 14,000） 5,900（ － ）  7,740（ 7,162）	①高品質な園芸作物の生産拡大を図るため、機械・施設等の整備に対して支援するとともに、省力・低コスト栽培体系の確立・普及を図る。 ②収益力強化に計画的に取り組む産地等に対し機械・施設の整備等を支援する。 ③産地における高品質化・低コスト化及び流通の効率化・合理化等の取組みを総合的に支援する。 ④需要が拡大しているネギなどの加工・業務用野菜の生産振興を図る。 ⑤作業の効率化や初期投資の軽減を図るとともに、秋冬ブロッコリーの計画安定出荷体制を確立し、産地の競争力強化を図る。 ⑥県オリジナル品種等の生産拡大を図るため優良種苗を安定供給する。
<花きの生産拡大> ①かがわ花き産業振興事業  ②盆栽産地基盤強化対策事業	19,630（ 19,720）  77,193（ 12,470）	①花きの利活用推進や「花育活動」、「全国高校生花いけバトル」の開催等を通じ、県産花きの消費拡大や花き文化の振興を図る。 ②盆栽の安定した輸出に向けて産地の基盤対策等を支援するとともに、盆栽に関する総合的な情報発信を行い、需要拡大と生産振興を図る。
<畜産物の生産拡大> ①畜産収益力強化対策事業（畜産クラスター事業）  ★②オリーブ牛高品質化推進事業  ③香川県産まれ「オリーブ牛」促進事業 ④「オリーブ牛」生産体制効率化事業 ⑤ICTを活用した「オリーブ牛」生産性向上対策事業 ⑥オリーブを活用した畜産物生産対策事業 ⑦オリーブ畜産物飼料増産対策事業 ⑧地域資源を活用した畜産物開発事業	120,475（ 160,527）  18,000（ 1,000）  15,000（ 32,316） 4,950（ 4,900） 2,000（ 2,000） 2,737（ 2,793） 2,000（ 2,000） 5,212（ 5,421）	①地域の収益性向上を目的とする「畜産クラスター計画」に基づいて行う中心的な畜産経営体の施設整備等を支援する。 ②優良繁殖雌牛の遺伝子解析や、選抜された一定水準以上の雌牛に対する最適な種雄牛精液の交配を支援する。 ③県産優良子牛の導入を支援する。 ④優良繁殖雌牛の受精卵の採卵や移植等を支援する。 ⑤発情・分娩・牛体監視機器等の導入を支援する。 ⑥オリーブを活用した畜産物の安定的な生産基盤強化を図る。 ⑦オリーブ飼料生産用機器等の導入を支援する。 ⑧希少糖などの地域資源を活用した畜産物の開発を図る。

☆⑨酪農後継牛確保対策事業	4,348 ( 2,500)	⑨乳用後継牛を確保するため、子牛の自家育成や慢性疾病の防止を支援する。
⑩安全でおいしい県産牛乳生産対策事業	1,721 ( 2,000)	⑩安全でおいしい牛乳の生産のため、県内酪農家の衛生指導を行う。
(3) 環境に配慮した農業の推進 ☆①有機性資源を活用した農業推進事業	32,170 ( 11,601)	①持続性の高い環境に配慮した農業を推進するとともに、土壌分析診断機能を強化し、科学的な土壌診断結果に基づく適切な肥培管理指導等を行うことで地力増進を図る。
2 ブランド力の強化など戦略的な流通・販売 (1) 県内外・海外への販路拡大 ①「おいでまい」ブランド強化事業 [再掲] ②「さぬきの夢」ブランド強化事業 [再掲] ③「さぬき讚フルーツ」ブランド力強化事業 ④県産野菜の戦略的ブランド力推進事業 ★⑤香川「旬のイチオシ」農産物PR事業 ⑥オリーブ畜産物ブランド化推進事業 ⑦かがわ農産物輸出促進事業 ⑧農産物輸出促進対策事業 ⑨GAP導入支援体制構築事業 ⑩畜産GAP認証取得促進体制整備事業	7,900 ( 8,250) 1,650 ( 1,650) 7,292 ( 9,030) 7,385 ( 9,485) 3,723 ( — ) 19,930 ( 18,805) 5,000 ( 5,113) 2,200 ( 2,800) 6,445 ( 11,085) 1,160 ( 1,265)	①「おいでまい」について、県内外で情報発信を行うとともに、販売対策や高品質生産を推進する。 ②「さぬきの夢」のブランド力を強化し、生産拡大や消費拡大を図る。 ③「さぬき讚フルーツ」推奨制度について、品質管理などの運営とブランド管理に努めるとともに、県内外への積極的な情報発信等を行う。 ④マーケットインの発想に基づく野菜のブランド化を図るため、品目ごとに本県の強みを活かした情報発信等を行う。 ⑤生産者と協働して、県民への県産農産物の理解促進と消費拡大を強化し、県内消費マーケットの基盤づくりと生産者の栽培意欲の向上を図る。 ⑥オリーブ畜産物のブランド強化を図るため、国内外での効果的な情報発信や販売促進を行う。 ⑦本県の重点輸出ターゲットである台湾において、博覧会への出展等による情報発信や市場調査を行う。 ⑧輸出先に対応した防除体系や輸送資材の検討を行う。 ⑨国際水準GAP（農業生産工程管理）の認証取得に向けた支援体制を整備するとともに、国際水準GAP指導員の育成を推進する。 ⑩畜産GAP指導員を養成し、畜産農家の認証取得を促進する。
(2) 県民の「豊かな食生活」への貢献 ①かがわ農水産物地産地消推進事業	1,602 ( 2,982)	①県民運動としての地産地消の普及・推進を図る。
3 6次産業化や農商工連携の推進 ①ヒット商品づくり支援事業 ②かがわ6次産業化等促進整備事業	12,803 ( 16,498) 8,000 ( 17,000)	①「かがわ6次産業化推進センター」を通じた推進体制の強化を図るなど、6次産業化を促進する。 ②6次産業化に必要な施設・機械等の整備に対して支援する。

主な事業（★新規、☆拡充）	事業費 ※（ ）内はH30 事業費	事業の概要
☆③みんなの6次化応援事業	8,200（ 2,248）	③農業者が主体となって市町や地域の食品事業者等とコンソーシアムを形成して行う6次産業化展開ビジョンの作成、新商品の試作、販路開拓、情報発信等の取組みを支援する。
<b>4 県を代表するオリーブ産業の振興</b> ☆①オリーブ生産拡大加速化事業 ②情報活用農業推進事業 [一部再掲] ③省力化栽培・果実貯蔵技術開発事業[再掲] ④県産オリーブトップブランド確立事業 ☆⑤オリーブオイル品質向上対策事業 ★⑥オリーブ新品種開発・普及促進事業[再掲]	42,000（ 42,000） 24,800（ 34,800） 3,900（ 4,500） 10,200（ 9,580） 4,251（ 6,743） 3,500（ — ）	①全国トップの生産量を持続できる生産体制を確立するため、認定農業者等を対象に重点的に支援を行い、生産拡大を推進する。 ②先端技術を活用して効率的な栽培技術等を確立する。 ③大規模栽培を行う場合に必要で、省力化技術の確立を図るとともに、オリーブ果実の冷蔵・冷凍等の貯蔵技術の開発を検討する。 ④県産オリーブについて、需要動向等を把握するマーケティング調査やニーズを捉えた情報発信により、県内外での認知度向上を図る。 ⑤「かがわオリーブオイル品質表示制度」の適正かつ適切な運用を行うとともに、官能評価体制の強化などにより、県産オリーブの高品質化とブランド化を図る。 ⑥種苗の増殖が最適となる条件や方法等について試験研究を行い、新品種の早期かつ安定的な苗木供給を図る。
<b>5 食の安全と消費者の信頼・安心の確保</b> ①県産農林水産物等の安全と安心の確保対策事業	2,895（ 2,944）	①農薬等の適正使用の徹底や、トレーサビリティの確保を推進する。
<b>Ⅲ 強くしなやかな生産基盤の整備</b>		
<b>1 農地集積の促進</b> (1) 担い手への農地集積 ☆①農地集積支援事業 ②農地集積等連携強化事業 ③中山間地域等農地活用総合支援事業 ☆④人・農地問題解決加速化支援事業	324,040（ 317,380） 380（ 500） 9,000（ 10,000） 600（ 154）	①香川県農地機構等による農地集積・集約化を促進するため、農地の出し手や受け手に対する助成のほか、地域の担い手となる集落営農法人への助成や機構による簡易な基盤整備等を新たに実施する。 ②集落営農の組織化を推進するフォーラムを開催する。 ③中山間地域等における農地の有効活用を図るため、地域特性を活かした農業を展開する担い手のニーズに即した総合的な支援を行う。 ④人・農地プランの実質化を進めることで、地域での話し合いの活性化を図る。

(2) 耕作放棄地対策の推進 ① 荒廃農地等利活用促進事業	6,451 ( 16,502)	① 荒廃農地の発生防止と解消を図るための再生作業等に必要な経費などに対して支援する。
(3) 優良農地の確保 ① 農地調整事業	3,066 ( 4,721)	① 農地の効率的な利用を図るため、権利移動調整や転用調整などを行う。
2 力強い農業を支える農地・ため池等の水利施設の整備 (1) 担い手のニーズや地域の特性を生かした農地・水利施設の整備 ① 経営体育成基盤整備事業 ② 農業体質強化基盤整備促進事業 ☆③ 集落営農推進生産基盤整備事業 ④ 農地集積促進事業 ⑤ 農地維持管理省力化事業 ⑥ 団体営土地改良事業 (単県補助)	285,730 ( 219,806) 164,602 ( 200,195) 183,000 ( 173,000) 4,000 ( 1,000) 7,750 ( 5,000) 850,000 ( 785,232)	① 将来の農業生産を担う効率的かつ安定的な経営体の育成を図るため、農業生産基盤及び農村生活環境を整備する。 ② 小規模なほ場整備やパイプライン化等の整備に対して支援する。 ③ 集落営農でのほ場整備やパイプライン化等の整備に対して支援する。 ④ 小規模なほ場整備について、農地集積率に応じて地元負担金を助成。 ⑤ 農地畦畔等の草刈りの省力化を図る防草対策などに対して支援する。 ⑥ 国庫補助での実施が困難な小規模土地改良事業に対して支援する。
(2) ため池や水路等の維持・管理体制の整備 ① 多面的機能支払事業 ② 国営かんがい排水事業香川用水二期地区負担金 ③ 県営基幹水利施設ストックマネジメント事業	870,000 ( 870,000) 442,588 ( 446,670) 416,069 ( 310,695)	① 農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農業者や地域住民が共同で取り組む地域活動を支援する。 ② 香川用水の農業専用水路の補修・改修等 (国営事業) の負担金。 ③ 老朽化した基幹的な農業専用排水施設等の対策工事を実施する。
3 地域を支える集落営農の推進 ① 地域を支える集落営農推進強化事業 [再掲]	48,603 ( 65,234)	① 集落営農の組織化や経営発展の検討及び経営規模の拡大や多角化等に必要な機械・施設の導入を支援する。
4 鳥獣被害防止対策の推進 ① 鳥獣被害防止体制整備支援事業 ② 鳥獣被害防止体制強化事業 ☆③ 鳥獣捕獲等助成事業	93,917 ( 101,560) 1,602 ( 2,070) 47,595 ( 47,248)	① 市町鳥獣被害対策協議会等の侵入防止柵等の設置に対して支援する。 ② 捕獲個体の適正処理や集落ぐるみの取組みを支援する。 ③ 有害鳥獣捕獲や野生鳥獣を寄せ付けない環境づくりなどを支援する。
5 自然災害等の危機への備え (1) ため池等の総合的な防災・減災対策 ① 県営ため池等整備事業 (一般型) ② 県営ため池等整備事業 (地域ため池総合整備事業) ③ 県営ため池耐震化整備事業 ④ 県営ため池緊急防災対策事業 (耐震性点検調査)	371,185 (504,630) 1,089,901 (709,370) 808,500 (699,400) 156,550 (414,100)	① 老朽化の著しいため池の補修・改修を実施する。 ② 一定地域内の複数のため池の調査・診断を行い、一体的に整備する。 ③ 耐震性が確保されていないため池の補強工事を実施する。 ④ 防災上重要な中小規模ため池の耐震性点検調査を実施する。

主な事業（★新規、☆拡充）	事業費 ※（ ）内はH30 事業費	事業の概要
☆⑤ため池ハザードマップ支援事業  ⑥小規模ため池防災対策特別事業	405,837（－）  100,000（100,000）	⑤市町が行うため池が決壊した場合の浸水想定区域図及びハザードマップの作成を支援する。 ⑥老朽化した小規模ため池の防災対策を行う市町に対して支援する。
（2）家畜伝染病に対する備え ①家畜伝染病予防事業 ☆②鳥インフルエンザ等防疫対応強化事業	24,670（15,753） 17,429（22,277）	①家畜伝染病の発生予防等を図るため、計画的な防疫業務を行う。 ②鳥インフルエンザ等の発生に備えた体制を強化するとともに、検査精度管理の向上により、検査体制の強化を図る。
（3）農作物の難防除病害虫や自然災害に対する備え ①特殊病害虫防除対策事業	582（591）	①重大な病害虫のまん延防止を図るため、防除対策を確立する。
<b>IV 特徴ある地域資源を活かした農村と集落の再生・活性化</b>		
1 多面的機能の維持・発揮 ①多面的機能支払事業 [再掲]  ②中山間地域等直接支払事業 ③中山間ふるさと・水と土保全対策事業 ★④中山間地域等人材緊急確保事業	870,000（870,000）  316,117（313,817） 12,000（10,500） 750（－）	①農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農業者や地域住民が共同で取り組む地域活動を支援する。 ②中山間地域等での集落協定等に基づく農業生産活動などへ支援する。 ③中山間地域の農地や農業用施設の保安全管理を促進する。 ④中山間地域での多様な人材確保につなげる積極的な活動を支援する。
2 独自の特徴ある地域資源を活かした農村の活性化 （1）地域特性を活かした特色ある農業の推進 ①薬用作物等導入促進事業 ②集落営農サポート塾実践事業 [再掲] ③中山間地域等農地活用総合支援事業 [再掲]	3,278（3,572） 906（1,000） 9,000（10,000）	①中山間地域等での薬用作物の生産拡大を推進する。 ②法人化や、人材確保等を支援する集落営農サポート塾を実施する。 ③中山間地域等における農地の有効活用を図るため、地域特性を活かした農業を展開する担い手のニーズに即した総合的な支援を行う。
（2）独自の特徴ある地域資源を発掘・利用した地域活動の推進と移住・定住の促進 ★①かがわの農泊推進事業  ②かがわ IJU 就農体験支援事業	6,285（－）  1,050（1,800）	①これまでのグリーン・ツーリズムの推進に加え、農林漁家民宿を中心に地域資源を活用して地域一体となって取り組む農泊を推進し、都市と農村の交流促進により地域の活性化を図る。 ②本県への移住・就農希望者を対象に農業体験等の企画を実施する。

<p>3 地域コミュニティ機能の維持・活性化</p> <p>①多面的機能支払事業 [再掲]</p> <p>②中山間地域等直接支払事業 [再掲]</p> <p>★③中山間地域等人材緊急確保事業 [再掲]</p>	<p>870,000 ( 870,000)</p> <p>316,117 ( 313,817)</p> <p>750 ( - )</p>	<p>①農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農業者や地域住民が共同で取り組む地域活動を支援する。</p> <p>②中山間地域等での集落協定等に基づく農業生産活動などへ支援する。</p> <p>③中山間地域での多様な人材確保につなげる積極的な活動を支援する。</p>
<p>4 農村の活性化を支える人材の育成</p> <p>①かがわ農業MBA塾実践事業 [再掲]</p> <p>☆②次代の農業をリードするアグリレディの確保・育成事業 [再掲]</p>	<p>4,000 ( 4,000)</p> <p>4,540 ( 4,500)</p>	<p>①認定農業者等の経営力向上に向けた経営戦略、財務・労務管理、人材育成等に関する体系的な研修を実施する。</p> <p>②新たに就農した女性農業者や、農業経営に積極的に参画する意欲ある女性農業者、女性農業者グループの活動等に対して支援する。</p>